

当団高鍋センターにおける火災について

去る6月7日の夜9時40分頃、当事業団高鍋種雄牛センター内にある現場担当職員が種雄牛の飼養管理のための準備作業や打合せ、休憩などに使用している管理舎兼作業庫（113 m²）から出火し、消防による懸命の消火作業にもかかわらず残念ながら建物1棟が全焼したところです。

出火原因につきましては消防、警察による検証が行われ、作業服などの洗濯用衣類乾燥機周辺にあるコードの燃え方が一番激しかったことから、電気コードの不具合による可能性が高いとの見解を伺っております。

幸いに、種雄牛への影響はなく、また種雄牛の飼養管理や採精作業に関連する書類や機械器具類は置いていなかったため、凍結精液の製造や供給については全く影響を受けることなく引き続き業務を行っております。

今回業務管理上の不注意により、このような事態を引き起こしたことを役職員一同真摯に受け止めますとともに、原因と思われる電化製品や電気器具等を含めた防火対策やセキュリティー対策、従来より実施しております防疫対策等の徹底にこれまで以上に取り組んで参りたいと考えております。

皆様方に多大なご心配をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。

（一社）宮崎県家畜改良事業団